

中国株ウィークリーレポート

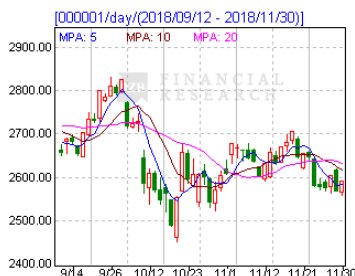
2018/12/3

【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	17年末株価
NYダウ	25,538.46	199.62	0.79	5.16	3.31	24,719.22
NASDAQ	7,330.54	57.45	0.79	5.64	6.19	6,903.39
日経225	22,351.06	88.46	0.40	3.25	-1.82	22,764.94
上海総合	2,588.19	20.74	0.81	0.34	-21.74	3,307.17
滬深300 (CSI300)	3,172.69	35.04	1.12	0.93	-21.29	4,030.86
ハンセン	26,506.75	55.72	0.21	2.23	-11.41	29,919.15
中国企業	10,621.74	36.81	0.35	2.24	-9.29	11,709.30

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は 2.2%高と反発、上海総合指数は 0.3%高

香港市場ではハンセン指数が週間で 2.2%高と反発。週初に終値で節目の 26000 ポイントを回復すると、その後は一進一退の展開ながらも総じて堅調な値動き。29 日には約 2 カ月ぶり高値をつけた。米中首脳会談に向けて期待と不安が入り交じる中、米追加利上げの早期打ち切り観測を受けた資金流出懸念の後退が相場を支えた。本土市場では上海総合指数が週間で 0.3%高と小幅に反発した。米中首脳会談を控えて全般に方向感に乏しい展開。製造業 PMI が市場予想を下回ったものの、逆に政府による景気対策への期待が高まった。

今週の展望:香港市場は堅調な展開か、米中首脳会談での猶予合意でリスクオン

香港市場は米中首脳会談での合意を受けて買いが先行しそうだ。中国への追加関税を 90 日間猶予する先送りの内容ではあるが、貿易摩擦を巡る両国の決定的な対立は回避。技術移転や知的財産権の保護など 5 分野で 90 日以内の解決が条件となるが、中国側の譲歩が難しい「中国製造 2025」が条件から除かれた点は大きい。パウエル FRB 議長発言を受けて米追加利上げの早期打ち止め観測が高まっていることも支援材料となりそうだ。本土市場も今週は米中首脳会談での合意を受けて買い戻しの展開が見込まれる。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 テンセント(00700)	312.00	7.14
2 碧桂園(02007)	9.62	6.65
3 中国海外発展(00688)	27.30	5.41
4 信和置業(00083)	13.46	5.32
5 CNOOC(00883)	13.30	5.06
6 恒基兆業地産(00012)	40.20	4.82
7 ファイナ・コム(00762)	9.07	4.49
8 サブ・ファイ(01928)	33.85	4.48
9 長江実業地産(01113)	56.35	4.26
10 瑞声科技(02018)	55.45	4.23

▼騰落率下位

	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 九龍倉置業地産(01997)	47.05	-5.43
2 万洲国際(00288)	5.71	-4.67
3 中国神華能源(01088)	17.38	-3.44
4 中電控股(00002)	86.25	-3.04
5 電能実業(00006)	53.00	-1.12
6 華潤置地(01109)	29.00	-0.85
7 石業集団(01093)	15.84	-0.38
8 中国蒙牛乳業(02319)	24.20	0.00
9 恒安国際集団(01044)	63.95	0.16
10 AIAグループ(01299)	63.85	0.16

▼今週の主なイベント

- 12月3日(月)
- 【中国】財新製造業 PMI(11月)
- 12月7日(金)
- 【米国】雇用統計(11月)
- 12月8日(土)
- 【中国】貿易統計(11月)

▼今週の期待材料

- ◆米中首脳会談で貿易摩擦を巡る決定的な対立を回避、追加関税の発動を 90 日間猶予することで合意
- ◆パウエル FRB 議長が米利上げの早期打ち止めを示唆、香港からの資金流出加速懸念が後退
- ◆中国政府による株価対策や景気対策への期待が継続、弱い経済指標が出ても相場への影響は限定的になる公算

▼今週の懸念材料

- ◆中国への関税引き上げ猶予の合意に対し、市場では「90 日間での問題解決は困難」との見方も
- ◆香港の住宅価格先行指標の CCL が 13 週連続下落、11 月 30 日発表の最新値は 1%下落の 177.39 ポイント
- ◆週末に米雇用統計や中国の貿易統計など重要指標が発表、週末にかけ様子見姿勢が強まる可能性も

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 新鴻基地産 (00016) : 18 年の不動産販売額が 11 月末時点で 280 億 HK ドルに
- ☆ 中国鉄建 (01186) : アルゼンチンの鉄道工事を受注、総額 10.9 億米ドル
- ☆ 美图 (01357) : 会長が 500 万株を追加取得、会長と CEO の保有比率が 40.5%に拡大
- ☆ 中国生物製薬 (01177) : 子会社が開発した鎮痛・抗炎症後発薬を中国当局が承認
- ☆ 広州富力地産 (02777) : 11 月の不動産販売額が前年同月比 2.5 倍に拡大
- ☆ 联想控股 (03396) : 中小企業向け金融サービス事業の分離上場計画を発表
- ☆ 華泰証券 (06886) : GDR 発行計画を中国当局が承認、A 株を最大で 8.25 億株発行
- ◇ シノトランス (00598) : 招商局集団の傘下企業と不動産開発の共同出資会社を設立
- ★ CNOOC (00883) : 原油相場が 1 カ月で約 2 割下落、OPEC 総会前に警戒感も
- ★ 中国アルミ (02600) : 傘下アルミ生産工場で生産調整、対象の年産能力は 47 万トン

本レポートは、株式会社 DZH フィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZH が信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZH はその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZH で入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZH は、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZH は一切その責任を負いません。

DZH は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZH およびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH 自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容について DZH は一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則平 14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。